

重点課題
IV 南部地域・東部地域の振興

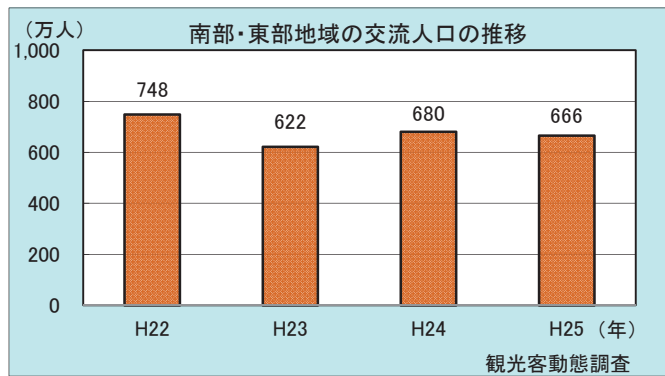
目指す姿
医療の充実や移動手段の確保などによる社会基盤の整備を基礎とし、地域の魅力の発見・創造・発信、通勤圏内での雇用機会の創出や農林業・スモールビジネス等の振興による就業の場の確保により、南部地域・東部地域を「住みたくなる、住み続けられる」地域にします。



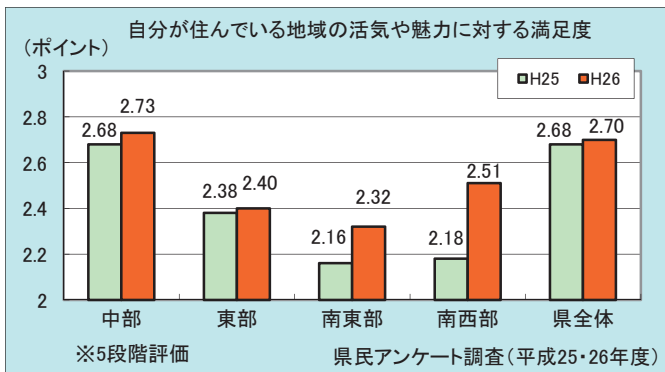
これまでの成果

- ・これまでの「南部振興計画」及び「東部振興計画」と「復旧・復興計画」をあわせた新たな計画として、「南部振興基本計画」及び「東部振興基本計画」を策定しました。(H27年3月)
- ・南部地域・東部地域の活性化を目指し、「なんゆう祭2014」を平成26年10月に五條市で開催し、約2万人の来場者がありました。
- ・大淀町福神地区に新設する南奈良総合医療センター本館棟の基礎工事が竣工しました。(H27年3月)
- ・東吉野村において、空き家を改修し、シェアオフィスが完成しました。(H27年3月)

1. 政策課題の進捗状況

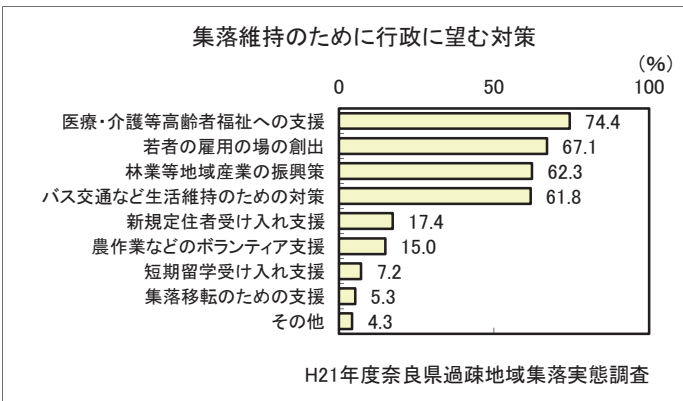
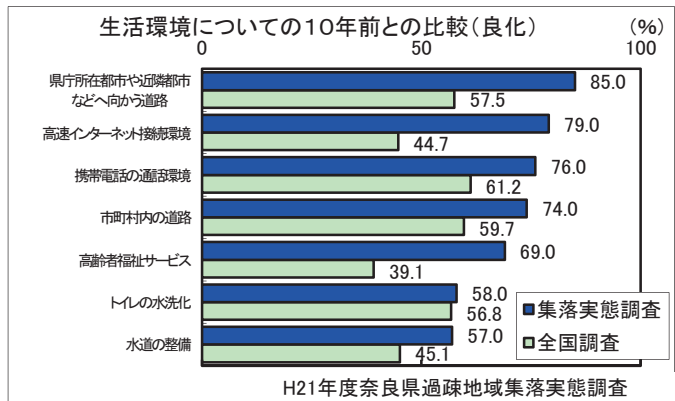


目標	南部地域・東部地域の交流人口(観光客数)800万人を目指します。(H24年 680万人)
取組	観光情報の発信や各種プロモーションを実施しました。
成果	平成25年の南部・東部地域の交流人口(観光客数)は666万人を確保しました。



目標	自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度を高めます。(H25年度県民アンケート調査<5段階評価>南東部地域2.16、南西部地域2.18、東部地域2.38、県全体2.68)
取組	医療の充実、若者の雇用の場の創出、農林業等地域産業の振興及び通院・バス交通等の生活維持対策を実施しました。
成果	全ての地域において満足度が向上しました。(H26年度県民アンケート調査<5段階評価>中部2.73、東部2.40、南東部2.32、南西部2.51、県全体2.70)

2. 現状分析

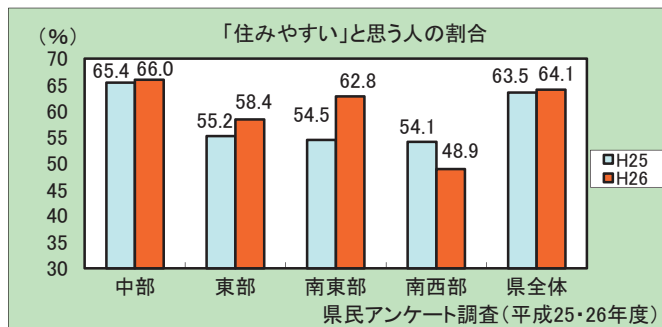


生活環境については10年前と比較して良化したと回答する割合が上記の項目において50%を超え、いずれも全国調査よりも高い割合となっています。中でも「県庁所在都市などへ向かう道路」、「高速インターネット接続環境」、「高齢者福祉サービス」等の項目について全国調査の割合を大幅に上回っています。

集落を維持していくための対策として、「医療・介護等高齢者福祉への支援」、「若者の雇用の場の創出」、「林業等地域産業の振興策」、「バス交通など生活維持のための対策」に高いニーズがあります。

3. 施策課題の進捗状況

戦略目標	<p>▶南部振興計画及び東部振興計画の着実な実行により、南部地域・東部地域の振興と移住・定住の推進につなげます。</p> <p>▶地域の魅力を発見あるいは創造し、多角的な情報発信などにより都市部との交流を進め、地域のにぎわいと活力を高めます。</p> <p>▶南部地域・東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。(H25年度県民アンケート調査 南東部:54.5%、南西部:54.1%、東部:55.2%、県全体:63.5%)</p> <p>▶移住・定住に関する情報発信を充実し、南部地域・東部地域の市町村への空き家バンク、ワンストップ窓口の設置などを推進することで受入体制を整備します。</p>
------	---



取組	インフラ整備を含む社会生活基盤を整備しました。
成果	平成26年度県民アンケート調査で、「住みやすい」と思う人の割合は、中部・東部・南東部で上昇が見られましたが、南西部では低下しました。(中部:66.0%、東部:58.4%、南東部:62.8%、南西部:48.9%、県全体:64.1%)

4. 平成28年度に向けた課題の明確化及び明確化された課題に対する今後の取組方針

平成28年度に向けた課題	今後の取組方針
観光交流の促進(地域の魅力の発信)	<ul style="list-style-type: none"> ・南部東部地域活性化イベントを開催します。 ・旅行雑誌や旅行サイト等の多様な広報媒体を活用し、首都圏や関西圏等に向けた観光情報の発信を強化します。 ・地域資源を活かしたスポーツイベント等を開催します。 ・広域的なネットワークの形成等による自転車の利用を促進します。
移住の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村での取り組み(広報、イベント、ワンストップ窓口、空き家バンク)を支援します。 ・移住、二地域居住のための拠点整備を支援します。 ・移住者・二地域居住者のための起業や受入体制整備を支援します。
医療・高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が地域で安心して住み続けることができるようにするため、医療・介護等が連携した地域包括ケアシステムの構築を推進します。 ・南和広域医療組合を設立し、救急医療を中心に担う病院(奈良総合医療センター)と、療養期を中心に担う病院(吉野病院、五條病院)に再編整備し、安定的な医療提供体制を確立します。
企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・京奈和自動車道御所IC周辺に新たな産業用地を造成するほか、五條北IC周辺で分譲中の工業団地、また郡山下ツ道ジャンクション供用開始により利便性がさらに高まってきた名阪国道周辺など、南部地域・東部地域への企業立地を促進します。
農林業等地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・柿等の農産物等のブランド化・生産能力向上による流通販売の強化拡大を進めます。 ・A・B・C材ごとに受け入れる製材・加工施設の確保と、それぞれの流通体制の構築を図ります。 ・木質バイオマスエネルギーの利活用の拡大を図ります。 ・奈良県にゆかりの深い漢方について、生薬の生産拡大や関連する商品・サービスの創出などを総合的に推進します。 ・在宅ビジネスやテレワーク等を希望する未就業者を掘り起こし、セミナーの開催や相談窓口の設置など在宅での起業の支援を行います。 ・鳥獣被害を軽減し、捕獲野生獣を有効活用します。

5. 平成26年度評価において見直しを行った課題、取り組み

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
移住の推進	今まで以上に移住を促進するため、南部地域・東部地域の全19市町村が協働して移住施策に取り組むための協議会を設置します。